

キャリア支援通信

No.5

令和8年2月18日(水)
静岡県立東部特別支援学校
キャリア支援課 島田愛美

小学部 進路懇談会

12月5日、小学部を対象とした進路懇談会を実施しました。学年ごと(3、4年は合同)のグループに分かれ、それぞれ異なるテーマで行いました。

1年	生活習慣、感染症の予防について	2年	自立に向けて
3、4年	本校の進路について	5年	本校の中学部の教育について
6年	本校の高等部の教育について		

本通信では、その中からいくつか抜粋して紹介します。小学部の段階から、今後の生活や将来の姿について少しずつイメージをもち、「今できること」を意識して積み重ねていくことが、より良い生活や将来につながっていくと考えています。

身につけておくといふ力や大切にしたい視点は、年齢や学年が違っていても共通する部分が多くあります。家庭での関わりを考える際の参考として、御一読ください。

2年「自立に向けて」より

【願う姿の実現に向けて 家庭でできること】

○将来の生活を見据えて必要な力を身につけましょう。

①基本的な生活習慣を身につけよう。



②家庭での役割を果たせるようになろう。



③楽しめることをつくり、増やそう!



- ・一人で時間を過ごせる楽しみがある。
- ・自信をもって取り組めることがある。

④社会で必要となるルール(決まり)やマナーに触れ、身につけよう。



- ・誰の支援でも受け入れることができる。
- ・困ったときに周りの人に伝えることができる。

【願う生活の実現に向けて】

☑情報を収集し、必要に応じて福祉サービス等の利用を検討する。

- 事業所に本人の状況を理解してもらうことができる。
- 人との関わりを広げるきっかけになる。

☑「味方」をたくさんつくる。

- ・必要な支援を受けながら、本人が家庭以外との関わりをもつ。
- ご家族が心身を休め、リフレッシュする時間を確保することも大切です。

3. 4年「本校の進路について」より

「進路指導」とは

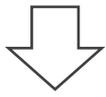
一人一人の夢の実現に向けての指導や支援。

「進路選択」は、将来どんな生活を送っていきたいかを思い描くことから始まります。

現在も、卒業後も「元気にたくましく豊かな人」として、充実した生活につなげていくための取り組みが「進路指導」、「進路学習」です。

【進路指導のキーワード】

一人一人の願い、実態を把握



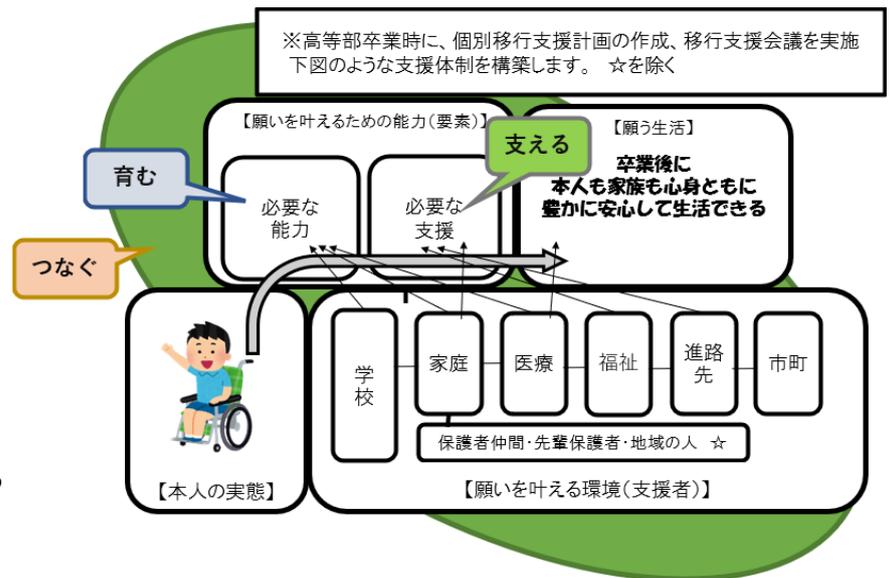
必要な能力を「育み」



必要な支援で「支え」



卒業後（地域）へ「つなぐ」意識をもつ



高等部職業コース 遠隔社会見学

日本各地の名所等を専門家の協力のもと知り、興味関心をもつこと、各地の特別支援学校の生徒と学びを共有したり、各校の様子を知ったりすることで日々の学習の意欲向上につなげることを目的として、10月31日に株式会社沖ワークウェル主催の遠隔社会見学（Zoom）が行われました。

見学先は長野県諏訪地区とエプソンミズベ株式会社（セイコーエプソン株式会社 特例子会社）でした。普段の学習の場で、他校の生徒の学習の様子や社会について学べる貴重な機会となりました。

